



かぐや姫伝説と自衛隊



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之1等陸佐）は7月24日（日）、中央公園（富士市）において実施された「富士まつり2016」に参加した。

この祭りでは、富士の夏を彩るパレードや各種の踊り、花火大会、音楽演奏などが盛大に催された。中でも「竹取物語」発祥の地にちなみ開催された「かぐや姫コンテスト」では、浴衣に身を包んだ地元の選ばれた女性たちが出場し、その美しさは会場に訪れた人々を魅了してかぐや姫の幻想で包み込まれていた。

静岡地本は、祭りの活況の中で広報コーナーを設け、制度説明や迷彩服の試着、パネル展示などを行い、募集活動とともに、近隣に4つの駐屯地がある富士市の住民に対し自衛隊への更なる理解や関心の醸成に努めた。

同時に、「ゆるキャラPOP」への投票呼びかけのため、静岡地本のマスコットキャラクター「しずぼん」を出動させ、その丸くて黄色い身体に「かぐや姫が帰る月を連想した」という声も聞かれ、思いがけない相乗効果により多くの応援が得られた。

また、富士市制50周年の特別企画として、航空自衛隊静浜基地よりT-7初等練習機が飛行展示を行うと、快晴の青空を颯爽と舞う姿を期待し、上空を見上げる人々の様子は、御伽話の月へと帰るかぐや姫の見送りを彷彿とさせる光景であった。

「清水みなと祭り」を陸海空の自衛隊が支援



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之1等陸佐）は、8月6日と7日の両日、清水港（静岡市）において開催された「第69回清水みなと祭り」で、陸・海・空それぞれの自衛隊と協力した広報や地本キャラ「しずぼん」を活用した広報活動を行った。

海上自衛隊からは、護衛艦「やまぎり」（横須賀基地）の艦艇公開を行い、2日間で約4,000名もの来場者が訪れた。また、護衛艦初の女性艦長である大谷三穂2等海佐は静岡地本が制作協力する地元FMラジオ番組「自衛TIMES★静岡」に出演し、女性自衛官を目指した経緯を語るとともに、県内の女性自衛官希望者に対する勇気付けのメッセージを熱く語った。

装備品展示としては、陸上自衛隊（板妻駐屯地）から軽装甲機動車及び高機動車等が、航空自衛隊（浜松基地）からは地对空誘導弾ペトリオットや隊員が装着する防弾チョッキが展示され、訪れた多くの来場者の興味を惹きつけていた。

最終日には、航空自衛隊のT-4中等練習機（浜松基地）及びT-7初等練習機（静浜基地）が飛行展示を行い、快晴となった清水の大空を背景に護衛艦「やまぎり」と迫力満点のツーショットを披露し祭りのハイライトを演出した。

静岡地本は、今後も地域と一体となったイベントに協力し、自衛隊への理解・関心を深めてもらうよう努めていく。